

老刀乱麻を断つ

老義士団

平成 28 年 3 月 1 日
日本義塾 新村 紘宇二

- 1 日本国の現状は、軍国主義者・安倍晋三一味の台頭／跳梁跋扈により、無残にも現日本国平和憲法が蹂躪／戦争法案強行採決され、あまつさえ平和国民の最後の砦である「言論の自由」すら、蹂躪され、最早平和国民の寄辺は失った。
- 2 平和を愛する日本国民は、別添「[愛国主義と軍国主義](#)」をよくよく検証するべきである。
- 3 日本軍国主義者による、第二次世界大戦・突入真相は、あろうことか隣国・中国における、欧米列強軍国主義者と日本軍国主義者との、阿片利権争奪戦に起因した「縄張り争い」が高じて勃発したもので、平和を愛する欧米列強の国民も、平和を愛する日本国民も、全く与り知らぬ、国際匪賊・[死の商人軍団](#)・[フリーメーソン](#)の仕業なのである。☹️平成の伊藤博文＝安倍晋三である。
- 4 その結果が、英米日・昭和天皇らの通謀による、日本平和国民に対する生体実験としての、広島、長崎への「原爆投下」による虐殺である。☹️二十世紀のヨシユア＝ユダヤ軍国主義である。
- 5 この第二次世界大戦の終結によって、日本国はアメリカ軍国主義者に占領され、終戦後 70 年を迎えた今日、未だに日本はアメリカに占領されたままなのである。
- 6 そして、また、あの戦争の悪夢が、今まさに再現されようとしているのである。
- 7 第一次世界大戦も、第二次世界大戦も、欧米列強による、大中国の金品を如何に掠め取るか、の、阿片に絡む利害の衝突から始まったのが真相であり、その大中国が再び豊かになり、金品をひけらかす「爆買民族」に成り上がった現在、再び、欧米列強は、手を変え品を変え、その大中国の金品を掠め取る談合を密め、その結論が「火事場泥棒戦略」なのである。
- 8 つまり、日本と中国を不仲にし、中国・韓国・朝鮮の反日感情を煽って、戦争をやらせ、その相方に、武器弾薬を売り込み、その相方の国力を弱めて、その間隙に乗じ、第三次阿片戦争を仕掛け、中国人、日本人、韓国人、朝鮮人を当該阿片漬けにして、中国、日本、韓国、朝鮮の金品を掠め取らんとしているのである。なぜ、安倍晋三の脳は、其れ位の事が、わからないのか。
- 9 まさか、麻薬と言われる、あの「阿片」を直接使うわけではない。それは、既に使われている欧米産の『薬』と『グルメ』である。
- 10 今、全世界の国々は、欧米列強の『薬漬け戦略』と『グルメ漬け戦略』に侵略され、世界の国民の大多数が、欧米産の『薬』と『グルメ』にうつつを抜かしている。
- 11 その結果は、あの、第一次阿片戦争、第二次阿片戦争の結末と同じである。
- 12 世界中の国民は、イギリス・ロンドンシティに陣取る「[悪魔の牙城](#)」(ユダヤ・[フリーメーソン](#)の巨魁・ロスチャイルドの本陣)を誰も知らない。この牙城が、全世界を操り、アメリカ・[フリーメーソン](#)の歴代大統領、中国の隠れ[フリーメーソン](#)・周恩来、鄧小平、台湾の蒋介石一派、日本の吉田茂、鳩山一郎、岸信介、児玉誉士夫らを金権で操り、世界中に戦争という火種を撒き散らしているのである。「[フリーメーソン](#)」とは「政商」の「[死の商人軍団](#)」なのである。
- 13 「[フリーメーソン](#)」は「オカルト」ではない！。戦争市場を量産する「[死の商人軍団](#)」なのである。
- 14 全世界の国民は、今こそ、立ち上がらなくてはならない。特に、還暦を過ぎた我ら老人は、何のかんばせあって生を惜しむか、見よ「[老人地獄](#)」を。今こそ、大義のために命を捨てるべきである。
- 15 まず、我ら日本人は、[フリーメーソン](#)・岸信介の孫・安倍晋三の性根を変えねばならない。今、それをしないと、我が国は、隣人である中国・韓国・朝鮮の人達と戦う破目になるのである。
- 16 若者には未来がある。だから、我ら大義の老人が命をかけるのである。
- 17 目的は、軍国主義者・安倍晋三一味の糾弾であり、退治である。
- 18 但し、方法は、日本人の精神と作法に則り、一対一の剣道による「試合」である。なぜなら、安倍晋三一味らには、我ら日本人の純血を流す価値などは、一理もないからである。この剣道による「試合」の申込みは決闘の申込みにあらず。命を取るわけではない。
- 19 我らは、ここに、[老刀乱麻を断つ](#)「老義士団」を結成し、戦後最悪の軍国主義者・安倍晋三の腐った性根を改心させるため、義憤をもって、若き悪大将・安倍晋三に剣道による、「デスマッチ」の「試合」を申込みするのである。剣道で、死に物狂いに汗を流せば安倍晋三の腐った性根も治るのである。

呼びかけ人

日本義塾・新村 紘宇二